PART2　S＋V／S＋V＋O／S＋V＋於・于・乎＋C

★「語順」の大切さ

愛我。

我愛。

① S（主語）＋V（述語）（＊V部分は形容詞・形容動詞・名詞も置かれる）

（例）

伍員（ごうん）亡（にグ）。（伍員は亡命した。）

汝（ノ）狗（いぬ）猛（たけシ）。（お前の犬は気性が激しい。）

彼良医也（なり）。（彼は腕の良い医者である。）

君怒。（君主　　　　　　）

② S＋V＋O〔目的語＝～ヲ〕

（例）　昭王招カントス二賢者一。　（昭王がすぐれた人物　招こうとした。）

病児服薬。　（　　　　　）

＊「〜ヲ」の送り仮名を振って文意が通じなければ、O ではなく C。

③ **S＋V＋於・于・乎＋C**〔補語＝〜ニ・ト・ヨリ（モ）〕

（例）　賢ナル二於隗（かい）ヨリ一者、…　（隗**より**すぐれた者が、…）

我請於帝。　（　　　　　）

＊V＝**「言う」**の意味になる時は、**「S＋V＋C」**となることが多い。

（例）　公語リテレ人曰ク…　（公が人　語って言うことには…）

＊文意上「〜**ヲ**」になる時は、C ではなく **O**。**強意**の働き。

（例）　伍員（ごうん）過（よぎ）ル二於荊ヲ一。　（伍員は荊の国を通り過ぎる。）

注　荊…楚（国名）の異名。

第３講　PART２　確認問題

①　傍線部のはたらきの組み合わせとして最も適当なものを、次の中から選べ。

季康子(きかうし)ａ問フ二政ヲ一ｂ於孔子(こうし)ニ一。

ア　ａ　主語　　ｂ　述語
イ　ａ　述語　　ｂ　補語
ウ　ａ　述語　　ｂ　目的語
エ　ａ　主語　　ｂ　補語

②　漢文の語順で「S」と「V」の間に入るものとして、正しくないものを一つ選べ。

ア　語気詞　　イ　副詞　　ウ　助動詞　　エ　再読文字　　オ　前置詞を含む句

③　傍線部の読み方として最も適当なものを、次の中から選べ。

都ス二平陽(へいやう)ニ一。

ア　都は　　イ　都を　　ウ　都す　　エ　都の

④　文が「S＋V＋C」の語順であるとき、返り点と送り仮名のつけ方が正しいものとして最も適当なものを、次の中から選べ。

*孟子(まうし)見 梁(りやう) *恵王(けいわう)。

注　孟子…中国戦国時代の思想家。
　　恵王…中国戦国時代の魏（梁）の王。

ア　孟子見ル㆑梁ニ㆓恵王ヲ㆒。

イ　孟子見ントス㆓梁ノ恵王ヲ㆒。

ウ　孟子見ル㆓梁ヲ恵王ト㆒。

エ　孟子見ユ㆓梁ノ恵王ニ㆒。

⑤　（　）内の書き下し文を参考にして、語順が同じであるものの組み合わせとして最も適当なものを、次の中から選べ。

a　観于華。（華(くわ)に観る。）

b　紂不悛。（紂(ちう)悛(あらた)めず。）

c　封延陵。（延陵(えんりよう)に封(ほう)ぜらる。）

d　視吾舌。（吾が舌を視よ。）

ア　a・b　　イ　a・c　　ウ　a・d

エ　b・c　　オ　b・d　　カ　c・d

第３講　PART２　解答

①（君主**が**怒る。）

②（昭王がすぐれた人物**を**招こうとした。）

（病気の子が薬を飲む。）

③（私は帝にお願いする。）

（公が人**に**語って言うことには…）

第3講　PART2　確認問題　解答

〔解説〕

① 送り仮名に着目して考える。「政を」とあるので「政」は目的語。「孔子に」とあるので「孔子」は補語、動詞として扱われている「問」は述語。「季康子」は主語、「於」は対象を表す置き字である。

② 「語気詞」は文末に置く。よって、アが正解。

③ 読み下すと「都」が文末にくることから、述語だとわかる。ア・イ・エは「都」を主語・目的語・修飾語として読んでいるので誤り。主語が省略されているが、S＋V＋Cの形である。

④ 「恵王」を補語として送り仮名をつけているのはウ・エ。この語順に目的語は含まれていないことから、「梁」に「～を」と送り仮名をつけて目的語として読んでいるウは不適切。よって、エが正解。「孟子梁の恵王に見ゆ。」と読み下す。

⑤ aは「観」が述語、「華」が補語、「于」は置き字。したがってV＋于＋Cの語順。bは「紂」は主語、「不悛」が述語。したがってS＋Vの語順。cは「封」が述語、「延陵」が補語。したがってV＋Cの語順。dは「視」が述語、「吾」は修飾語、「舌」は目的語。したがって、V＋修飾語＋Oの語順。よって、述語と補語の関係を中心として組み立てているaとcが同じ語順である。

〔解答〕

① イ　② ア　③ ウ　④ エ　⑤ イ